



機関紙

かわら版

No.70

2025.08



利尻島の利尻富士

目次

1	新理事・新監事のご紹介	2～3
2	新体制・委員会担当理事紹介	4
3	新人社会福祉士の紹介	5
4	ベテラン社会福祉士の視点	6～7
5	地区支部からのお知らせ	8～9
6	2025年度 第2回全道社会福祉士の つどい（全道会員交流会） 開催のお知らせ	10

— 会員の動向（7月31日現在） —

- 総会員数 1,881名
- 入会率 13.23%
- 新入会員数（転入含）114名（累計）
- 退会員数（転出含）2名（累計）

発行人 出町 勇人
発行所 事務局
編集 企画総務委員会
(委員長 佐々木 祐也)

— 会員の皆様へ —

LINE公式アカウント、
公式Facebook未登録の方は
ぜひご登録ください。



LINE公式アカウント



公式Facebook（フェイスブック）
(<https://www.facebook.com/hokkaidocsw/>)



〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 4階

TEL.011-213-1313 FAX 011-213-1314

メールアドレス info@hokkaido-csw.or.jp



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、
より多くの人に見やすく読みまちがえにくい
デザインの文字を採用しています。

【新理事・新監事のご紹介】

- ①氏名
- ②所属地区支部
- ③所属先（事業所名）
- ④理事になった抱負を一言！

■理事



- ①出町 勇人
- ②道央地区支部
- ③社会福祉事務所
ポジティブ・ワークス

④3期目を迎え、会員同士が学び合い・支え合いを通じ、地域で力を発揮できるよう、会の運営に努めます。



- ①今井 敦
- ②道北地区支部
- ③社会福祉法人旭川三和会

④4期目を迎え、今期も副会長に就任いたしました。微力ですが全力で頑張ります。よろしくお願いいたします。



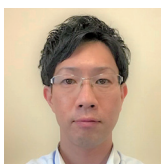
- ①澤田 憲一
- ②釧根地区支部
- ③別海町役場福祉課

④4期目です。副会長として会長をサポートし、会員の交流事業に取り組めます。10月4日 白老、苫小牧で会いましょう！



- ①篠原 歩
- ②日胆地区支部
- ③社会福祉士事務所アプカス

④今期より副会長に就任しました。微力ですが、会のため一生懸命頑張ります！宜しくお願い致します。



- ①赤坂 直紀
- ②道央地区支部
- ③社会福祉法人溪仁会介護老人
福祉施設きもべつ喜らめきの郷

④専門職者の皆さま、その属する事業所の専門性の向上に資する職能団体となるよう、尽力してまいります。



- ①岩佐 宏希
- ②道南地区支部
- ③一般社団法人あうたの家

④四期目となります。会員皆様が入会してよかったと思える会になるよう働いていきたいと思っています。



- ①岡本 勉
- ②道南地区支部
- ③七飯町役場福祉課
地域包括支援係

④会の事業運営に少しでもお役に立てるよう、力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



- ①加藤 岳大
- ②道北地区支部
- ③(株)福祉の萬屋 傍楽
- ④今期より理事に就任しました。

実習指導者研修委員としての経験を活かし、少しでも社会福祉士の皆様のお役に立てるよう努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



- ①久保田 眞弓
- ②釧根地区支部
- ③釧路刑務支所

④3期目の就任です。微力ですが、会員の皆様に参加したくなる企画・運営に向けて、真摯に努めてまいります。



- ①近藤 祐二
- ②道南地区支部
- ③こんどう社会福祉士事務所

④理事は二期目となります。幅広い視点を持つことを心掛け、学び続ける姿勢を大切にして頑張ります!!



- ①坂井 大地
- ②オホーツク地区支部
- ③社会福祉法人きたの愛光会
北見市南部地区地域包括支援センター

④今期より理事に就任しました坂井と申します。諸先輩方や会員の皆さまの力を借りつつ、会の運営に努めていきます。よろしくお願いいたします。



- ①佐々木 祐也
- ②オホーツク地区支部
- ③津別町役場保健福祉課福祉係／こども家庭センター

④理事2期目です。前期以上に皆さまのお役に立てるよう尽力いたします。よろしくお願いします！



- ①目黒 慎治
- ②道央地区支部
- ③(株)ぱっけりんく

④今期より理事に就任いたしました。出来る限りの貢献をして参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。



- ①澁谷 昌広
- ②道南地区支部
- ③医療法人社団向仁会函館市地域包括支援センターよろこび

④会員の皆さまのために、北海道社会福祉士の事業運営に務めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



- ①鷺津 輝朗
- ②日胆地区支部
- ③室蘭市地域包括支援センターことぶき

④今期より理事に就任しました。微力ではございますが、会員の皆さまのお役に立てるよう尽力してまいります。



- ①庄司 圭佑
- ②十勝地区支部
- ③鹿追町役場保健福祉課

④理事になり2期目となります。より魅力的な会となるよう、微力ながらお力になればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

■外部理事



- ①長崎 亮一
- ②北海道介護支援専門員協会理事
- ③社会福祉法人禎心会
居宅介護支援事業所・せれな

④皆様とともに学び、考え、会の発展とガバナンスの強化に微力ながら尽力してまいります。



- ①高橋 功成
- ②釧根地区支部
- ③社会福祉法人釧路愛育協会

④今期より理事に就任しました。会の運営や皆さんのお力になれるよう尽力しますので、よろしくお願いいたします。

■監事



- ①大内 高雄
- ②道央地区支部
- ③北海道医療大学大学院
(非常勤)

④会員監事として3期目になります。志高く、北の福祉の創造に尽力されている皆様と共に、変に気負うことなく謙虚に役割を果たしたいと思います。



- ①鳥瀬 一成
- ②十勝地区支部
- ③地域包括支援センター
帯広至心寮

④今期より理事に就任致しました。微力ながら、会や会員皆様の活動に貢献できるよう尽力致します。宜しく願い致します。



- ①石塚 慶如
- ②なし
- ③ゆいと法律事務所

④引き続き監事をさせていただくことになりました。外部監事の観点から会の活動に貢献できればと思います。



- ①宮澤 俊
- ②道北地区支部
- ③道北勤医協一条通病院

④今期より初めて理事に就任し、生涯研修委員・ぱあとなあ運営担当になりました。会の発展に尽力いたします。

【新体制・委員会担当理事紹介】

新体制が決まりましたのでお知らせします。

(任期：2025年総会から2027年総会までの2年間)

会 長 出町 勇人（道央地区支部）
 副 会 長 今井 敦（道北地区支部）、澤田 憲一（釧根地区支部）、
 篠原 歩（日胆地区支部）
 内部監事 大内 高雄（道央地区支部）
 外部監事 石塚 慶如（札幌弁護士会）

☆は委員長

委員会名	担当正副会長	担当理事	地区支部
企画総務委員会	澤田 憲一	☆佐々木祐也 加藤 岳大 岩佐 宏希 鳥瀬 一成	オホーツク 道 北 道 南 十 勝
生涯研修委員会	篠原 歩	☆高橋 功成 宮澤 俊 赤坂 直紀 鷺津 輝朗	釧 根 道 北 道 央 日 胆
ぱあとなあ北海道運営委員会	篠原 歩	☆宮澤 俊 岡本 勉 鳥瀬 一成 坂井 大地	道 北 道 南 十 勝 オホーツク
現場実習指導者研修委員会	今井 敦	☆加藤 岳大 目黒 慎治	道 北 道 央
地域包括支援センター支援委員会	今井 敦	☆坂井 大地 鷺津 輝朗 澁谷 昌広	オホーツク 日 胆 道 南
障がい者等地域生活支援委員会	澤田 憲一	☆岡本 勉 庄司 圭佑	道 南 十 勝
生活困難者支援委員会	澤田 憲一	☆近藤 祐二 久保田真弓 赤坂 直紀	道 南 釧 根 道 央
災害対策委員会	出町 勇人	☆庄司 圭佑 高橋 功成	十 勝 釧 根
司法分野との連携特別委員会	出町 勇人	☆久保田真弓 岩佐 宏希	釧 根 道 南
子ども家庭支援委員会	出町 勇人	☆目黒 慎治 佐々木祐也	道 央 オホーツク
虐待対応専門職チーム運営委員会	今井 敦	☆澁谷 昌弘 近藤 祐二	道 南 道 南
個人情報内部監査委員会		☆佐々木祐也 鷺津 輝朗 岡本 勉 久保田真弓	オホーツク 日 胆 道 南 釧 根

【新人社会福祉士の紹介】①

氏名：谷井 智也（52歳）

所属：道央地区支部

社会福祉法人くるみ会

障害者自立支援施設くるみ



【新人社会福祉士の紹介】②

氏名：大川 和徳

所属：日胆地区支部

障害福祉サービス事業所

i・box



令和5年に社会福祉士の資格登録を行いました。所属機関での業務、他の職能団体での活動があり「入会しても活動できるのだろうか」という思いから北海道社会福祉士会への入会を躊躇したまま約2年が経過してしまいました。

入会のきっかけになったのは、他の職能団体の方が仰っていた「入会するメリットを求めるのではなく、入会しないことによるデメリットを考えることが大切である」という言葉です。職能団体に所属することで自分にどのようなメリットがあるのだろうかと考えがちですが、そうではなく資格登録者が入会しないという事は職能団体としてはデメリットになり得ると考えます。会員がソーシャルワークの知識、技術の専門性の維持・向上に努めることは社会福祉士の責務として当然の事であり、入会による特段のメリットを求めるものではありません。寧ろ社会福祉士会としてソーシャルアクションを起こす際には多くの会員の力が必要であり、入会しないということは社会福祉士会としてはデメリットとなると考え、遅ればせながら今回入会した次第です。

今回参加した「新入会員のつどい」では様々なフィールドで活躍する皆様と貴重な時間を共有することが出来ました。微力ではありますが会員としての活動に取り組んでいく所存です。

私は現在、障害福祉サービス事業所i・box（宿泊型自立訓練）に勤務しており、主に地域移行支援に携わっています。ここでは、精神障害、発達障害、知的障害をお持ちの方々が、地域での自立した生活を目指せるよう、日々サポートを行っています。社会福祉士として甚だ未熟ではありますが、これまでの経験に助けられ何とか今日まで来られております。これまでの経歴としましては「特定施設入所者生活介護事業所」施設長として、利用者様の生活を多角的に支える中で、福祉の奥深さ、やりがいを強く感じてきました。また転職後は「地域包括支援センター」社会福祉士として、地域の様々な課題と向き合い、多職種連携の重要性を肌で感じてきました。これらの経験は、i・boxでの地域移行支援において、利用者様一人ひとりの状況に合わせた支援を考える上で、非常に役立っていると感じます。障害福祉という分野は、制度の枠組みが年々変化し、新たな課題が生まれています。そんな中でも、利用者様が安心して地域で暮らせるよう、私たち社会福祉士の役割はますます重要になると感じています。地域移行支援は、まさにその最前線であり、利用者様が新たな生活のステージに進む瞬間に立ち会える、専門職として喜びも多い現場です。社会福祉士会の皆様との出会いを大切に、諸先輩方から多くのことを学びながら、社会福祉士としての専門性を高めていきたいと考えております。微力ではございますが、利用者様、そして地域社会の福祉向上に貢献できるよう、誠心誠意努めてまいりますので、どうぞご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

【ベテラン社会福祉士の視点】①

氏名：田中 信宏

所属：十勝地区支部



私の社会福祉士としての活動のスタートは、専門職後見人として、被後見人の身上監護を主とした後見活動から始まった。8年間で3人の被後見人の方を立て続けに葬送した後、今は活動を休止している。亡くなった3人の方には、社会福祉士として、資質を高める機会を頂いたと思っている。

一方でボランティア活動として、「ひきこもり」の支援組織をR寺の住職とともに立ち上げた。結成は2017年「寺子屋の集い」というボランティア組織である。以来今日では、不登校、ひきこもり支援団体NPO法人「クロユリの会」にまで成長し、行政との連携をとりながら、「ひきこもり」支援を続けるまでに認知された。

私は大学の卒業と同時に教職の道に進み、小中学校の教員として38年間の教職を経験している。この間たくさんの児童生徒、保護者との出会いがあったが、特にT小学校の時に受け持ったU君のことが忘れられない。ひ弱でいじめられてよく泣いていたU君は、今では町内有数の農業所得者となった。いじめられている子をいじめっ子から守るのは、担任、教師として当たり前だが、私の教育観の中に「教師の倫理綱領」があり、特に教育の機会均等、人権尊重（生徒の人権を尊重し、いかなる場合も人権を

侵害してはならないこと）が、私の教育実践の指針になっていたと思っている。

ひきこもり問題は1990年の新潟県の少女監禁問題を契機として、2019年には、東京都練馬区の自宅で、ひきこもりの長男が父親によって殺害されるという凄惨な事件が起き、しかもその父親が、農林事務次官だったこともあって大々的に報道された。

現在ひきこもり者の推定値は146万人。状態像は多様だが、多くの方が人権を侵害された状態で、家あるいは部屋に閉じこもっている。社会福祉士の倫理綱領の原理Ⅱ（人権）には、社会福祉士は、すべての人々を生まれながらにして侵すことのできない権利を有する存在であることを認識し、いかなる理由によってもその権利の抑圧、侵害、略奪を容認しない、と謳われている。ところが昨年一昨年の日本社会福祉士会 全国大会・社会福祉士学会の開催要項を見ても、ひきこもりにつての提言・発表は見当たらない。

社会福祉士の資格を目指している方の中には、国家資格の肩書があれば就職に有利だから、という発想があるかもしれない。しかし社会福祉士になるということは、倫理綱領にある人間の尊厳や人権尊重の精神を貫き、更に社会正義を実現するという高い使命感が伴う資格を得ることであるから、倫理綱領を忘れることなく日々の課題に精進してほしいと思う。

【ベテラン社会福祉士の視点】②

「社会福祉士って何をする専門家？」

氏名：岩佐 宏希

所属：道南地区支部
(七飯町)

一般社団法人あうたの家



私は社会福祉士を取得して19年経ちます。年数だけみるとベテランに入るのかもしれませんが。地区支部から「ベテラン社会福祉士の視点」の原稿依頼がありましてから「自分がベテラン社会福祉士の原稿を書くのにふさわしいのか？」というとまどいを感じながら作成しております。

大学を卒業後、介護老人保健施設や介護老人福祉施設の相談員、居宅介護支援事業所の介護支援専門員の職を経て、2020年に介護支援専門員として勤務する傍らで独立型社会福祉士事務所を開設し、2022年に「一般社団法人あうたの家」を設立して以降、完全に独立型事務所として活動をしています。

2009年に地区支部の方が声をかけてくださり、初めて保佐類型の方を受任し、成年後見人としての活動を始め、2015年から「ぱあとなあ北海道運営委員会」の運営委員を担うことになりました。その頃から「社会福祉士って何をする専門家なのか？」ということ意識するようになり、クライアントや他の専門職に対してきちんと説明できない自分に気づき始めました。勉強不足を痛感するようになり、社会福祉士会の基礎研修ⅠからⅢを受講するようになり、認定社会福祉士を目指すようになりまし

た。「勉強して自分磨きをしていくと少しは上手に説明ができるようになるのではないか？」という希望を持ちながらではありますが、仕事をしながら課題をこなしていくわけなので決して楽なものではありませんでしたが何とか乗り越えることができたのだと振り返っています。

さて、現在の私はというと様々な研修に参加して少しは自分に自信が持てるようになってはいますが、未だに「社会福祉士って何をする専門家？」という説明が上手にできない場面にぶつかります。結局のところ、クライアント一人一人はまったく別な方で個性があり、説明のしかたもクライアント一人一人に理解していただけるようにしていかなければならないのだと最近考えています。じっくり考えてみると社会福祉士の倫理綱領には「社会福祉士は、クライアントに必要な情報を適切な方法・わかりやすい表現を用いて提供する。」とあるようにわかりやすい表現で説明をしないといけないのだと考えています。困ったときには倫理綱領や行動規範に立ち返ってみようという研修会などでの教えがまさにその通りなのだと痛感しています。

結びとしてあくまでも私の経験談ですが、社会福祉士会では色々な研修会が企画されていて、自分磨きにはとても良い機会です。皆さまもぜひ積極的に研修会に参加してみてください。

【地区支部からのお知らせ】

【道央地区支部】

「災害支援セミナー」

日 時：9月13日(土) 9時30分～12時30分

会 場：札幌市社会福祉総合センター

内 容：基調講演「北海道で発生が想定される地震津波災害」

講 師：北海道大学大学院理学研究院

名誉教授 谷岡 勇市郎 氏 他

「司法福祉セミナー」

日 時：9月13日(土) 13時30分～15時30分

会 場：同上

内 容：講話「保護観察所の機能と社会福祉士の役割－更生保護と医療保護－」

講 師：札幌保護観察所統括保護観察官

高澤 泰史 氏

「会員懇親会」

日 時：9月13日(土) 16時～18時

会場と会費は申込者にお知らせします。

※詳細は、道央地区支部のホームページでご確認ください。

【道北地区支部】

ぱあとなあ勉強会や各委員会主催の研修会などをオンライン等も含め定期的開催。3月8日(土)に第20回権利擁護セミナーを開催し、有限会社たむらソーシャルネットの田村満子氏を招き「意思決定支援をあらためて考える」をテーマに講演、実践報告を行いました。また、6月14日(土)に春季セミナーを開催し、北星学園大学の畑亮輔

氏を招き「社会福祉士養成の“いま”」をテーマに講演、座談会「ソーシャルワークの実際とこれからの社会福祉士」を行いました。その後全体会で役員改選をおこない高橋通江氏が地区支部長に再任しました。

【道南地区支部】

令和7年6月20日(金)2025年度道南地区支部全体会を行いました。2024年度の活動報告、2025年度の活動予定を報告し、会員の皆さまから、支部活動について理解をいただきました。

全体会終了後、定例学習会を行い、「任意代理契約について」をテーマに湯浅支部長より、ご講義いただきました。講義では、任意代理契約によってクライアントに不利益を起こす危険性を指摘し、護るためには社会福祉士の倫理観はとても重要であると強く主張しました。

今後も会員の皆さまの資質向上につながる企画を立て、活動を展開して参ります。

【日胆地区支部】

6月1日に開催いたしました権利擁護・成年後見セミナーおよび日胆地区支部全体会には、41名の皆様にご参加いただきました。

近年、8050問題、引きこもり、貧困問題など複合的な課題を抱えるケースが増加しており、制度の狭間やセルフネグレクトなど支援に繋げることが困難なケースへの対応が重要な課題となっています。今回の

セミナーでは、個別支援の限界を超え、横断的連携に加えて「顔の見える連携」の重要性について検討する貴重な機会となりました。

現在、「全道社会福祉士のつどい」の開催に向けて役員一同で企画を進めております。日高・胆振地域の特性を活かし、地区の仲間たちと有意義で楽しい時間を過ごしていただけるよう準備を進めておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

【十勝地区支部】

5月31日に十勝地区支部全体会・学習会を開催し、役員改選が行われました。十勝地区支部の未来に向けて新しい体制でスタートを切りました。学習会では、NPO法人スマイルリング野々村千晶氏をお招きし「更生を目指す若者のサポートの事業内容や活動内容など」と題してご講演いただきました。また、十勝こども家庭支援センター伊林会員、児童養護施設十勝学園大和田会員に「子ども家庭福祉の取り組み～児童家庭支援センターの役割と里親支援～」について報告していただきました。

今年度の十勝地区支部の事業実施に向けて、協力しながら取り組んでいきます。

【オホーツク地区支部】

6月21日(土)、地区支部会員学習会と全体会を開催しました。会員学習会では、ポジティブ・ワークスの出町勇人氏をお招きし、

独立型社会福祉士の実践についてお話しいただきました。また、同日地区支部全体会をハイブリッドにて開催し、前年度の事業報告と今年度の事業計画について報告ののち、地区支部幹事の新体制について承認いただきました。

今年度も、多くの会員に参加いただけるよう、様々な研修会等を企画していきます。

【釧根地区支部】

6月21日に釧根地区支部全体会において、役員改選が行われました。支部長、事務局長、会計がその役割を終え、未来へ向けたバトンが新たな役員へと託されました。

同日には、社会福祉セミナー『地域で支える再出発』を実施。釧路刑務支所、釧路保護観察所の第一線の専門家4名を講師としてお招きし、医療観察、更生保護、刑法改正の観点から、それぞれの立場における役割と課題についてお話をいただきました。

質疑応答では熱気あふれる意見交換が行われ、参加者全員が、罪を犯した方々の再出発を地域でどのように支えていくべきかを考える貴重な機会となりました。

【2025年度 第2回全道社会福祉士のつどい（全道会員交流会）】 開催のお知らせ

昨年度オホーツク地区支部にて開催した全道社会福祉士のつどいを、今年度は日胆地区支部にて開催いたします。なお、今回は日胆地区ソーシャルワーカー協会との共催で開催いたします。会員の皆さま、ぜひつどいに参加し、地区支部の垣根を超えて会員相互の交流を深めましょう！

- 日 時 2025年10月4日(土) 13時～（受付12時30分～）
- 場 所 第1部 白老町総合保健福祉センター（いきいき4.6）
（白老郡白老町東町4丁目6－7）
ウポポイ（民族共生象徴空間）
（白老郡白老町若草町2丁目3）
第2部 懇親会（刺身居酒屋なか善 苫小牧市表町2－2－19）
- 参加対象者 本会会員、日胆地区ソーシャルワーカー協会会員
- 内 容 特別講演「アイヌ民族の権利擁護～宇梶静江の人生～」

【講師】

宇梶 静江 氏



1933年北海道浦河町にアイヌの家の6人兄弟の3番目に生まれる。40歳で関東ウタリ会を立ち上げアイヌ民族の権利獲得の活動を行う。2020年自伝「大地よ！アイヌの母神、宇梶静江自伝」発刊。2021年11月88歳にして故郷北海道に帰ってきて、（一社）アイヌ力を立ち上げ、アイヌの学び舎、「シマフクロウの家」にてアイヌを語ろう！と、詩人「古布絵」作家、アイヌ文化伝承者として精力的に活動を行っている。2022年ドキュメンタリー映画「大地よ アイヌとして生きる」完成し、全国各地で上映。吉川英治文化賞受賞、後藤新平賞、北海道文化賞受賞。アイヌ文化賞受賞、白老町善行表彰受賞と多くの賞を受賞する。

- タイムスケジュール 13時～14時35分 開会挨拶・特別講演
15時～17時 ウポポイ見学
19時～ 懇親会
- 参加費 特別講演：無料、ウポポイ見学：600円
懇親会：5,400円、懇親会2次会：2,500円
- 申し込みは、以下のURLまたは右の二次元コードからお願いします。
<https://forms.gle/ZrLnC3dnFhG7ahwT6>
申込期限：9月5日(金)



※「Breaktime ～三択クイズ～」は、今回お休みです。

【前号の答え】 ②福島県

【前号の当選者】

市川 憂子さん（道央支部）、浜尾 勇貴さん（釧根支部）、
佐藤 文彦さん（道北支部） 以上の3名でした。おめでとうございます！

